

平成27年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンオータス

コード番号 7623 URL <http://www.sunautas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北野 俊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 古川 晴男

TEL 045-473-1211

四半期報告書提出予定日 平成26年9月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第1四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第1四半期	9,256	1.1	△226	—	△221	—	△198	—
26年4月期第1四半期	9,155	8.9	△30	—	△27	—	△91	—

(注) 包括利益 27年4月期第1四半期 △195百万円 (—%) 26年4月期第1四半期 △93百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第1四半期	△63.24	—
26年4月期第1四半期	△28.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第1四半期	14,721	3,470	23.5
26年4月期	14,531	3,726	25.6

(参考) 自己資本 27年4月期第1四半期 3,467百万円 26年4月期 3,723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	17.00	17.00
27年4月期	—	—	—	—	—
27年4月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	△11.7	70	8.1	80	8.5	45	—	14.15
通期	40,000	△2.7	200	△26.2	200	△28.1	140	129.0	44.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年4月期1Q	3,230,500 株	26年4月期	3,230,500 株
② 期末自己株式数	27年4月期1Q	97,870 株	26年4月期	80,270 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年4月期1Q	3,134,415 株	26年4月期1Q	3,181,130 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策と金融緩和策の効果から、企業収益と雇用情勢が改善し、設備投資も増加傾向となるなど、景気は緩やかな回復基調をたどりました。しかし、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により個人消費に弱い動きがみられ、世界経済では米国における金融緩和縮小による影響、中国やその他新興国経済の成長鈍化、地政学的リスクの高まりなどが懸念され、先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループは、三カ年の中期経営計画として「トータルカーサービス」から「トータルライフサービス」への発展的な変革を行うため、生活関連事業の拡大強化を図り、お客様が抱える諸課題と多様なニーズにお応えできるサービス体制の構築に努めました。また、新規顧客の獲得強化とお客様満足度向上による顧客の固定化に取り組むとともに、経営全般にわたる効率化を推進いたしました。

しかしながら、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動やイラク情勢の緊迫化から原油価格が上昇したこと、更に石油製品需要が減少する中で販売競争が一段と激化するなど、当事業は厳しい経営環境下におかれました。

その結果、売上高は9,256百万円（前年同四半期比100百万円増収、1.1%増加）、営業損失226百万円（前年同四半期は30百万円の営業損失）、経常損失221百万円（前年同四半期は27百万円の経常損失）を計上し、法人税等負担後の四半期純損失は198百万円（前年同四半期は91百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。なお、セグメント間の取引については、相殺消去前の数値によって表示しております。

① エネルギー事業（石油製品販売、カーケア商品販売、車検・整備）

当事業につきましては、原油価格の高騰から国内石油製品価格が高値圏で推移するなかで、SS（サービスステーション）は新規顧客の獲得とENEOSカード・Tカードの新規発券の取り組みに加え、タイヤ・コーティング洗車・メンテナンス商材などカーケア商品の充実化と点検サービスのアプローチを徹底するなど、お客様満足度向上による顧客の固定化に努めました。また、直販部門では大口需要家向け燃料油の販売数量の拡大に努め、車検部門は環境対策として掲げる環境車検の販促強化から生産台数は前年実績を上回りました。しかしながら損益面では、石油製品需要の減少や小売価格も高騰するなかで、SS間の販売価格による顧客獲得競争が一段と激化し、燃料油の仕入価格上昇に対するタイムリーな価格転嫁が進まず、適正マージンの確保は厳しい状況となりました。

この結果、売上高は4,698百万円（前年同四半期比228百万円増収）、セグメント損失は30百万円（前年同四半期はセグメント損失35百万円）となりました。

② カービジネス事業（BMW、プジョー、フォードの輸入車正規ディーラー、オリックス・レンタカー）

当事業の輸入車販売業界は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動から、平成26年4月～7月までの輸入車国内販売台数は73,208台となり、前年と比べ14.1%と大幅に減少いたしました。このような状況の下、当社の各輸入車ブランドでは新規ユーザーの獲得と積極的な買い替え促進策の結果、エコカー対象車両の販売が好調に推移したことにより、販売台数は前年並みをキープいたしました。損益面では、新車販売の価格競争による粗利率の低下と中古車販売台数の減少などにより厳しい収益状況となりましたが、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動は徐々に収まっており、また、BMW車ではニューXシリーズならびにプラグイン・ハイブリッド・スポーツカーi8が発売されることから、利益は次四半期以降に期待をつなぐ結果となりました。

レンタカーにつきましては、顧客の獲得競争が激化するなか、個人・法人チャネルを中心に新規顧客の開拓と既存ユーザーへのアプローチを強化し再利用の促進に取り組みました。また、8月の最大需要期に備え、お客様ニーズに見合った新型エコカー車両の拡充と、11月に本格稼働となるFujisawaサステイナブル・スマートタウンのトータルモビリティセンター開設に向けて準備を進めてまいりました。

この結果、売上高は4,466百万円（前年同四半期比129百万円減収）、セグメント損失は172百万円（前年同四半期はセグメント利益45百万円）となりました。

③ ライフサポート事業（損害保険・生命保険募集業務、訪問介護サービス）

当事業につきましては、生活関連事業の拡大強化を図るため、先行投資を積極的に行い、将来に繋がる安定収益の確保に努めてまいりました。

保険部門では、来店型保険ショップ『ほけんの窓口店』の認知活動を強化し、来店客数の増強に取り組みました。また、新店舗開設に向けた人材の確保を行うとともに、人材育成によるお客様への提案力の強化を図り、成約率の向上に努めてまいりました。

介護部門では訪問介護による生活支援体制の強化と地域ニーズに根差した包括的なサービスを提供するため、通所介護開設（デイサービス）を視野に入れた人材の確保と育成に努めてまいりました。

ライフサポート事業につきましては、ほけんの窓口店の開設に伴う人件費および販管費の先行負担によりセグメント損失を計上いたしますが、来店客数ならびに契約件数は両部門ともに計画どおり進捗しております。

この結果、売上高は28百万円（前年同四半期比11百万円増収）、セグメント損失は7百万円（前年同四半期はセグメント損失26百万円）となりました。

④ 不動産関連事業（ビルメンテナンス業、不動産賃貸業）

当事業につきましては、ビルメンテナンスの営業強化と安定した顧客の確保により、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は113百万円（前年同四半期比12百万円減収）、セグメント利益は28百万円（前年同四半期はセグメント利益23百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、14,721百万円と前連結会計年度末に比べ189百万円増加しました。これは主として流動資産が134百万円増加し、有形固定資産が51百万円増加したことによるものであります。負債合計は11,251百万円と前連結会計年度末に比べ446百万円増加しました。これは主として流動負債が481百万円増加したことによるものであります。純資産合計は当第1四半期連結累計期間の業績を反映し3,470百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は2.0ポイント減少して23.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年6月19日に公表の数値を変更しておりません。なお、この連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,324,203	1,073,915
受取手形及び売掛金	2,068,646	2,236,489
商品及び製品	2,843,604	3,233,857
原材料及び貯蔵品	15,575	7,221
繰延税金資産	27,076	52,398
その他	1,004,458	813,484
貸倒引当金	△34,612	△33,456
流動資産合計	7,248,953	7,383,910
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,107,514	1,097,629
土地	3,890,088	3,890,088
リース資産(純額)	545,599	642,636
その他(純額)	599,749	563,805
有形固定資産合計	6,142,951	6,194,160
無形固定資産		
その他	18,663	18,461
無形固定資産合計	18,663	18,461
投資その他の資産		
投資有価証券	93,175	96,329
長期貸付金	44,400	41,400
差入保証金	643,385	640,361
繰延税金資産	75,797	77,514
その他	293,569	298,666
貸倒引当金	△29,407	△29,400
投資その他の資産合計	1,120,920	1,124,871
固定資産合計	7,282,535	7,337,493
資産合計	14,531,489	14,721,404

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,258,402	2,654,654
短期借入金	5,339,615	5,688,000
1年内返済予定の長期借入金	397,988	409,988
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	271,989	310,143
未払法人税等	118,030	2,821
賞与引当金	112,391	54,882
その他	840,050	699,378
流動負債合計	9,368,468	9,849,867
固定負債		
社債	30,000	15,000
長期借入金	579,704	481,207
リース債務	305,365	372,851
繰延税金負債	15,738	15,089
役員退職慰労引当金	77,532	79,775
退職給付に係る負債	397,985	407,826
その他	30,231	29,590
固定負債合計	1,436,557	1,401,339
負債合計	10,805,026	11,251,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,250	411,250
資本剰余金	462,500	462,500
利益剰余金	2,871,310	2,619,505
自己株式	△41,817	△48,931
株主資本合計	3,703,243	3,444,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,117	22,770
その他の包括利益累計額合計	20,117	22,770
新株予約権	3,103	3,103
純資産合計	3,726,463	3,470,196
負債純資産合計	14,531,489	14,721,404

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)
売上高	9,155,965	9,256,050
売上原価	7,783,409	8,002,146
売上総利益	1,372,555	1,253,904
販売費及び一般管理費	1,403,157	1,480,852
営業損失(△)	△30,601	△226,948
営業外収益		
受取利息	444	504
受取配当金	928	983
受取手数料	13,357	17,252
その他	4,288	5,200
営業外収益合計	19,019	23,941
営業外費用		
支払利息	13,931	16,397
その他	2,408	2,293
営業外費用合計	16,340	18,690
経常損失(△)	△27,923	△221,697
特別損失		
固定資産売却損	-	23
固定資産除却損	592	221
役員退職慰労金	38,249	-
特別損失合計	38,841	244
税金等調整前四半期純損失(△)	△66,765	△221,942
法人税、住民税及び事業税	7,932	3,557
法人税等調整額	16,425	△27,247
法人税等合計	24,358	△23,690
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△91,123	△198,251
四半期純損失(△)	△91,123	△198,251

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△91,123	△198,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,005	2,652
その他の包括利益合計	△2,005	2,652
四半期包括利益	△93,128	△195,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△93,128	△195,598
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年5月1日 至 平成25年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	エネルギー 事業	カービジネス 事業	ライフサポ ート事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,428,313	4,591,151	17,525	118,973	9,155,965	—	9,155,965
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,348	4,858	—	7,608	53,815	△53,815	—
計	4,469,662	4,596,010	17,525	126,582	9,209,780	△53,815	9,155,965
セグメント利益又は損失(△)	△35,809	45,328	△26,756	23,184	5,946	△36,548	△30,601

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△36,548千円には、セグメント間取引消去39,165千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△75,714千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年5月1日 至 平成26年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エネルギー 事業	カービジネス 事業	ライフサポ ート事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,658,612	4,462,804	28,156	106,477	9,256,050	—	9,256,050
セグメント間の内部売上高 又は振替高	39,525	3,363	450	7,424	50,764	△50,764	—
計	4,698,137	4,466,167	28,607	113,902	9,306,815	△50,764	9,256,050
セグメント利益又は損失(△)	△30,293	△172,716	△7,807	28,387	△182,429	△44,519	△226,948

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△44,519千円には、セグメント間取引消去23,964千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△68,483千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。